

2025 フクシマ連帯キャラバン報告書

全港湾東海地方田子の浦
支部青年部長 金森 一貴

福島連帯キャラバンに初めて参加させて頂きました。

2011年3月11日、東日本大震災と福島第一原子力発電事故から14年が経過した現在も依然として解決すべき課題が残っていると感じました。

復興は目に見える物理的な損害だけでなく、被災した人々の心のケアや生活基盤の再建が重要だと感じました。実際視察した事で単なるニュースや報道では見えない細かな問題や人々の精神的な疲れや困難を実感しました。

私たちが暮らす東海地方、静岡にも浜岡原子力発電所があります。2011年に当時の政府の指示の下で運転が停止している状態ですが、今年1月に発生確立が見直され30年のうちに80%に引き上げられた南海トラフ地震があり、発生した場合は巨大津波が押し寄せる恐れがあり、原子力事故を引き起こすリスクが高いと言われています。

自分たちも直面している課題なので福島連帯キャラバンで学んだ事を、同じ東海支部の青年部やそれ以外の若い世代に伝え、広めていきたいと思います。

運営して下さった東北地本の青年部の方々本当にありがとうございました。